

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2007-292890(P2007-292890A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2006-118442(P2006-118442)

【国際特許分類】

G 0 9 G	3/36	(2006.01)
G 0 3 B	21/00	(2006.01)
G 0 3 B	21/10	(2006.01)
G 0 9 G	3/20	(2006.01)
G 0 9 G	3/34	(2006.01)
H 0 4 N	9/31	(2006.01)
G 0 2 F	1/13	(2006.01)
G 0 2 F	1/133	(2006.01)

【F I】

G 0 9 G	3/36	
G 0 3 B	21/00	E
G 0 3 B	21/10	Z
G 0 9 G	3/20	6 8 0 C
G 0 9 G	3/20	6 4 2 P
G 0 9 G	3/34	J
G 0 9 G	3/20	6 4 2 L
H 0 4 N	9/31	A
G 0 2 F	1/13	5 0 5
G 0 2 F	1/133	5 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源から投射される光をライトバルブを介してフレネルスクリーンに投射する背面投射型表示装置であって、

前記フレネルスクリーンからの反射光が集光する位置に設けられた光センサと、

前記光センサによる測定結果に基づいて、前記ライトバルブを制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする背面投射型表示装置。

【請求項2】

光源から投射される光をライトバルブを介してフレネルスクリーンに投射する背面投射型表示装置において、

前記フレネルスクリーンからの反射光が集光する位置に設けられた光センサと、

前記光センサによる測定結果に基づいて、前記光源の駆動を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする背面投射型表示装置。

【請求項3】

フレネルスクリーンの一部の領域に対し光が投射されるよう前記ライトバルブを制御する手段をさらに備えることを特徴とする請求項1に記載の背面投射型表示装置。

【請求項4】

前記制御手段は前記ライトバルブを制御しホワイトバランスを制御することを特徴とする請求項1に記載の背面投射型表示装置。

【請求項5】

前記ライトバルブはR G Bの光それぞれに対応した複数のライトバルブから構成されており、

前記制御手段は前記複数のライトバルブをそれぞれ独立して制御し色むらの補正を行うことを特徴とする請求項1に記載の背面投射型表示装置。

【請求項6】

光源から投射される光をライトバルブを介してフレネルスクリーンに投射する背面投射型表示装置の制御方法であって、

前記フレネルスクリーンからの反射光が集光する位置に設けられた光センサが、該位置の光量を測定する測定工程と、

制御手段が、前記測定工程による光量の測定結果に基づいて、前記ライトバルブを制御する制御工程と、

を備えることを特徴とする制御方法。

【請求項7】

請求項6に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の目的を達成するための本発明による投射型表示装置は以下の構成を備える。即ち、

光源から投射される光をライトバルブを介してフレネルスクリーンに投射する背面投射型表示装置において、フレネルスクリーンからの反射光が集光する位置に設けられた光センサと、光センサによる測定結果に基づいてライトバルブを制御する制御手段とを備える。